

## 7/1 社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達式

第69回社会を明るくする運動に関する内閣総理大臣からのメッセージが、那珂地区保護司会会長沢畑益雄氏ほか2人から、市長へ伝達されました。

この運動はすべての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。



▲市長へメッセージを伝える沢畑益雄さん（真ん中奥から）宇留野治男さん、宮崎誠一さん

## 7/17 地域の安全を守る

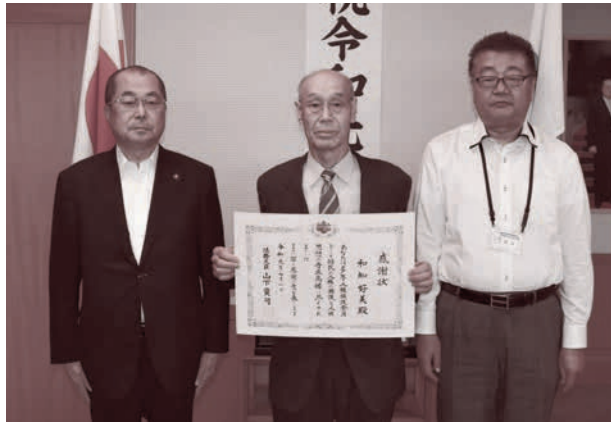
野口地内で発生した建物火災で、いち早く初期消火を実施した小森光男さん（三美）と皆川俊光さん（野口）が三次真一郎市長と内田正行消防長から表彰されました。帰宅途中の小森さんが偶然火災を発見し、周囲に知らせながら現場近くにお住まいの皆川さんと協力し、消防隊が到着するまで近くの公設消火栓と消火栓ボックス内のホースを使って放水し続け、延焼の拡大を防ぎました。



▲左から三次真一郎市長、小森光男さん、皆川俊光さん、内田正行消防長

## 7/10 人権擁護活動法務大臣表彰

市の人権擁護活動に多くの功績があったとして、和知好美さん（高部）が法務大臣から表彰されました。和知さんは、平成19年から人権擁護委員として、皆さんからの人権相談や人権思想の啓発活動を積極的に行うなど、4期12年の長きにわたり、広く人権擁護活動に貢献されました。



▲左から三次真一郎市長、和知好美さん、尾又真一常陸太田支局長

## 7月 市民の方からまちのできごと 非常用持出袋を配布

野上第1区では、地震などの災害に備えて区内の世帯（204世帯）に、いざという時には背負って持ち出せるナップザック型の非常用持出袋を配布しました。「乾パン」「非常用保存水」を一緒に配布し、「非常持ち出し品・備蓄品チェックリスト」も配布しています。

いつ起こるかわからない地震等の自然災害に備えて、各家庭での備蓄や地震対策を進め「我が家は大丈夫」「ここは安全」などと過信することのないよう、皆さんが防災意識を高めるきっかけになればと期待しているそうです。



▲備えておくことが大事ですね

## 6/16-17 市民の方からまちのできごと 小田野様ストーリー

小田野区（佐藤誠区長）の区活性化特別企画として、23人の参加者が秋田県秋田市と仙北市角館町を1泊2日で訪れました。この企画は、慶長7年（1602）、佐竹氏の秋田国替えに従った一族や家臣のうち、角館に移住した小田野氏の足跡を訪ねたもの。秋田市千秋公園の久保田城跡で小田野家屋敷跡を見学したり、秋田県立近代美術館では、解体新書の挿絵を描いた秋田蘭画の先駆者である小田野直武の「岩に牡丹図」も見学し、地元の歴史を学ぶ研修となりました。



▲角館の武家屋敷小田野家前でパチリ

## 7/6 小祝・えごまの学校

平成28年度から始まった「小祝・エゴマの学校」が今年度も開校されました。第1回目は、地元小祝地区の先生たちが育てた苗を、ほ場に植える作業に取り組みました。18人の参加者は6人の先生たちと和やかに交流しながら、一つ一つ丁寧に手植えし、エゴマの栽培について楽しく学んでいました。

この事業は、市内小祝地区で『遊休農地の活用×エゴマ栽培を通した農業振興×体験プログラムでの交流促進』を図るために実施されているものです。

■問い合わせ■

道の駅常陸大宮～かわプラザ～ 電話：58-5038



▲成長が楽しみです

## 7/3 地域ケア会議

おおみやコミュニティセンターで、医療職、介護職、消防職、民生委員など91人が参加し、地域ケア会議を行いました。今回は10月に再編される市内の地域公共交通網の課題等について、企画政策課、社会福祉協議会からの講話とグループワークを実施しました。参加者からは「乗合タクシーや路線バスの利用方法の周知が必要である」と多くの意見がありました。広報やお知らせ版掲載のほかに関係部署と協議を行い幅広く周知を行います。そのほか頂いた意見をもとに市の政策形成につなげることを目指します。



▲活発な意見が出ました

## 7/7 七夕まつり in おがわ

緒川支所駐車場で、第10回七夕まつり in 緒川が開催されました。今回は市制施行15周年記念事業として、緒川地域の保育園、小中学校や団体等に加え、美和地域や山方地域からも多くの七夕飾りが出展されました。会場内には、きらびやかなビック七夕飾りやミニ七夕飾りが並び、特に、すだれ七夕飾りには、多くの来場者が足を止め見入っていました。また、「クイズ知ってっけ？」などのクイズイベントも開催されました。



▲すだれ七夕飾り

7/10

## 常陸大宮市のお宝発見ツアー2019

常陸大宮市のお宝発見ツアー2019の第1回到市内の小学4から6年生20人が参加しました。

午前は、押し花インストラクターの久和野さたさんを講師にお招きし、押し花体験を行いました。色とりどりの花の中から、好みの花を選び、きれいに花を並べていました。一人ひとりが個性あふれる世界に一つだけの押し花作品を作ることができました。午後は、御前山地域にある蒼泉寺に行き、市の指定文化財になっている花や鳥が描かれた「格天井の絵画」や龍の水墨画が描かれた杉板の「板戸絵」



▲座禅に集中していました

を見学しました。

その後、初めての座禅体験にも挑戦しました。足がしびれてしまった児童も多かった一方で、「とても心が落ち着いた」という感想もありました。

児童たちは、年間を通してさまざまな体験をし、学校・学年の違う仲間たちと協力しながら、本市の誇れるものについて学んでいきます。

このツアーは、茨城大学生ボランティア「子どもふれあい隊」の皆さんの協力を得て実施しています。

子どもふれあい隊の声



茨城大学2年 青木駿太

私は初めての参加でしたが、元気いっぱいの児童たちと押し花をしたり、蒼泉寺で座禅をしたり、とても楽しい貴重な経験を一緒にすることができました。また次回、みんなに会えるのを楽しみにしています。

7/11

## 茨城県農業三士の認定

県総合福祉会館で、県農業振興のけん引役となる農業三士（農業経営士、女性農業士、青年農業士）の認定・退任式が開催されました。本市からは、下岩瀬で水稻、ナス等の生産・販売に積極的に取り組む萩谷龍司さんが青年農業士として新たに認定されました。萩谷さんは、地域農業の中核的役割を果たしている青年農業者であり、地域のリーダーとしてさらなる活躍が期待されます。



▲（前列左）萩谷龍司さん

7/14

## 鷺子山上神社夏例大祭

4年に1度の鷺子山上神社夏例大祭が鷺子地区袋木地内を中心として開催されました。見事な装飾が施された2台の屋台と4台の山車を6つの組がそれぞれ運行し、組から組へと渡御された神輿とともに国道293号などを練り歩きました。祭りの見どころである通称「ぶんぬき」では、屋台と山車に乗ったお囃子が一段と激しく笛や太鼓を打ち鳴らし、その迫力と熱気に多くの観客が酔いしれていました。



▲ぶんぬきでお祭りは最高潮に

7/28

## 消防ポンプ操法競技大会

第15回市消防ポンプ操法競技大会が辰ノ口地内のおおみや消防広場で開催されました。各分団の選手たちは操法の正確さなど練習の成果を十分に発揮していました。優勝した分団は、10月におおみや消防広場で開催される県北地区大会に出場します。



▲ポンプ車操法の部優勝 第15分団（緒川）



▲小型ポンプ操法の部優勝 第13分団（緒川）

8/5

## 小瀬高校生をパラオへ派遣

JENESYS2019（※）でパラオ共和国へ派遣される小瀬高校生の梶山璃奈さん（3年）、手塚麻衣さん（3年）、安藤沙優里さん（1年）が出発を前に三次真一郎市長を表敬訪問しました。

3人はパラオ共和国に9日間滞在し、パラオハイスクールで高校生と意見交換会をしたり、家庭訪問をとおりて文化や歴史などを学びます。このプログラムには小瀬高校生のほか、宮城県蔵王町などから合計12人の高校生が参加します。

※外務省が推進する「対日理解促進交流プログラム」として、将来を担う人材を育成する事業です。



▲パラオについていろいろな質問がありました

## 地域おこし協力隊がゆく



▲ファインダー越しの常陸大宮市を見つめています

地域おこし協力隊の古澤です。私は現在、写真を使ったまちおこしを模索していて、そのファーストプロジェクトとなる「この街に彩を…」に向けて準備をしているところです。せっかくの機会ですので、ここで企画の趣旨を紹介させていただき、皆さんにもご理解とご支援をいただければと思います。

プロジェクト「この街に彩を…」は、常陸大宮市も例外ではない人口減少の傾向に向け、何かできることはないかと思考えたものです。人口の減少。それはつまり十人十色であるはずのこの街が八人八色、いや、六人六色と徐々に色をなくしていることと同義だということです。人口の減りゆく日本の中でこの街だけ十二人十二色と増やしていくことは難しいかもしれませんが、しかし、そんな薄れゆくこの街に少しでも色を与えたい。そんな発想のもと考えた企画がカラー写真を使ってこの街の色を増やしていくという方法です。「あなたが撮った1枚の写真がこの街を彩らせます。最高の1枚をぜひ常陸大宮へ」。

この企画が皆さんに少しでも興味を持っていただき、また、少しでもこの街が彩られるよう、頑張りたいと思います。企画の詳細が決まり次第、SNS などでお知らせしたいと思いますので、応援をよろしくお願いします。